

渡部昇一著「渡部昇一著作集／人生①『繁栄の哲学』を貫いた巨人 松下幸之助」ワック 2012年6月26日刊を読む

松下電器の「五精神」と「五箇条の御誓文」

1. 松下さんは命知第二年に当たる昭和八年七月に、松下電器の遵^{じゅんぽう}奉すべき五精神を左記のとおり

りに定めた。

一. 産業報国の精神

産業報国の精神は既に本所綱領に於て示す^{ところ}処にして、我等産業人たる以上、本精神を第一義とせざるべからず

一. 公明正大の精神

公明正大の精神は人間処世の大本にして如何に学識才能を有し、如何なる高位に居るも、此精神なきものは以て範とするに足らず

一. 和親一致の精神

和親一致の精神は本所信条に掲ぐる処、個々に如何なる優秀の人材を擁するも、此精神に欠くる^{いわゆる}あらば所謂烏合の衆にして何等の力なし

一. 力闘向上の精神

力闘向上の精神は、徹底的力闘こそ我等使命達成の唯一の要諦にして、真の平和も向上も、此精神なくてはかち得られざるべし

一. 礼節を尽すの精神「礼節謙譲の精神」

礼節を尽すの精神は、人にして礼節を尽すの心なくんば、社会の秩序は保たれざるべし、正しき礼節の存する^{うるお}処社会を情操的に美化せしめ、以て潤ひある人生を現出し得るものなり

一. 順応同化の精神

進歩発達は自然の摂理に順応同化するにあらざれば得難し社会の大勢に即せず人為^{へん}に偏する如きにては決して成功は望み得ざるべし

一. 感謝報恩の精神<七大精神>

感謝報恩の念は吾人に無限の悦びと活力を与うるものにして此の念深き^{かんなん}処如何なる艱難をも克服するを得真の幸福を招来する根源となるものなり

2. 産業報国、公明正大、和親一致、力闘向上、礼節と、五つ並べるといふようなことは、やや恥ずかしがる向きがある。「五箇条の御誓文」だとか、「陸海軍軍人二下シ給ヘル勅諭」の五箇条とかあるものだから、照れる人もいる。松下さんは照れない。照れないでやったほうがいいと言いきる。その後、昭和十二年に「順応同化」、「感謝報恩」を加えて「七大精神」になっている。さらに「礼節を尽すの精神」を「礼節謙譲の精神」と改めて現在に至っている。

3. 維新政権の基本方針である「五箇条の御誓文」が箇条書きである時期に出ると、どういう時代になりつつあるのか、あるいは国家の目標が何かということが、割合と簡単な形で万民に伝わる

のである。「**広ク会議ヲ興シ、万機公論ニ決スヘシ**」とか、「**官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメンコトヲ要ス**」とかいうのは、明治の気分をよく伝えているのである。

4. 明治天皇が軍人に下賜された「**軍人勅諭**」も軍人の守るべき徳目として「**忠節**」、「**礼儀**」、「**武勇**」、「**信義**」、「**質素**」の五箇条をあげ、「**忠義**」の項において「**軍人の政治への不干与**」に言及している。ところがあとから見ると、そのように五箇条にまとめてはっきり書いたことすらも軍人が守らなくなったので、日本が悪くなったのである。ともあれ、「**五箇条**」ということになると悪いことは書けない。非常にいいことを書く。そこからずれるとだめになるということなので、それを不断に意識に浮かべることは効果的である。宗教にも「**モーゼの十誡**」とか、「**仏教の五戒**」とかがある。松下教にも当然それができた。
5. 松下さんは、自意識過剰のインテリではない。教祖である。照れないで「**五箇条**」をつくり、あとで「**七箇条**」にした。成文化した内容を松下電器の全従業員が奉じている限りは、実に立派な集団である。いまでも行っている朝会で、毎日この「**七精神**」を、「**松下電器の遵奉すべき精神**」として、全員で唱和しているとのことである。現代において、こういうことをナンセンスとみる向きもないではないが、「**この精神を唱和しているときだけでも、その気持ちになればよい**」という「**寛容の気持ち**」で行われているという。それで十分ではないか。何もしないのとは、積年の間に自ずと違いが表れてこよう。
6. 企業が単に労働を提供して賃金を取るだけの場でなく、「**コミュニティ**」であり、「**精神的活動の場**」であるという認識があるとすれば、五戒も七戒もすべて欠くべからざるものである。欧米の産業社会の問題は、教会コミュニティが力を失ったのに、代わるべきコミュニティがまだ出てこないことに大きな原因がある。松下神学は見事に「**会社のコミュニティ化**」の方針を戦前において示したのだ。
7. 「**会社のコミュニティ化**」を示す一例として、昭和十三年に「**高野山に物故従業員の慰霊塔を建て、開眼法要**」をやっている。「**今日に至るまで、松下電器は秋の彼岸には高野山で、過去一年に亡くなった従業員の合祀祭と慰霊法要を続けている**」という。欧米に発達した資本主義社会の資本対労働という単純な発想法では捉え切れないものが、日本の会社には出ていることを示すものである。

P302 ~ 305

<コメント>

松下電器(現、パナソニック)の創業者、松下幸之助の企業家精神、「**五精神**」と「**五箇条の御誓文**」。顧客本位の使命感を「**会社のコミュニティ化**」という形で経営哲学にまで昇化させたものと高く評価させて頂きたい。

2018年11月12日林明夫記